



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

ブルー

01 青の画家、伊藤彰規

02 プロが切り取る美幌の自然

Vol.348

2026/08/01



伊藤彰規 《Passage》

Photo 今月の1枚

“Passage”はフランス語で「通路」などを意味します。美術学芸員としてこの言葉から想起するのは、思想家 ヴァルター・ベンヤミンの「パサージュ論」です。作者が本タイトルに同様の意味合いを込めているのかは分かりませんが、ベンヤミンが論じた、パリの「パサージュ（ガラス張りのアーケード街）」のような幻想的な魅力を感じます。（早田真莉子）



01 Green Column グリーンコラム

ブルー 青の画家、 伊藤彰規

作品／伊藤彰規・文／早田真莉子

キャンバスに広がる、さまざまな色調の青。北見市在住の画家 伊藤彰規 [昭和 30 (1955) 年ー] 氏が描くのは、幾重にも塗り重ねられた青色のなかに、点や線、^{くけい}矩形などが構成された、いわゆる抽象画と呼ばれる作品です。伊藤氏の個展やアトリエを訪れると、空間を埋め尽くすのは、たくさんの青、青、青…。それでも騒々しさは全くなく、むしろ静かで穏やかなそれらの絵をじっと見つめていると、懐かしいような寂しいような不思議な感覚に包まれます。

伊藤氏は小樽市に生まれ、北見市へ転校し 8 年間過ごしたのち、多摩美術大学進学のため上京しました。平成 15 (2003) 年には、文化庁新進芸術家海外留学生としてフランスへ派遣されるなど、芸術の本場で多くの刺激を受けながら制作に励んできました。初期には樹木などの具象画も描い

ていましたが、パリ滞在時に目にした明るく澄んだ青空が、故郷 北見市の空を思わせたことから、懐かしさとともに強く惹かれ、以来「^{ブルー}青」は伊藤氏にとって重要な主題となっています。そのため、氏はオホーツク地域の澄み渡った青空や海の青、流水の青などを象徴する「オホーツクブルー」という言葉にちなみ、自身の作品における青色を「キタミブルー」と名付け、長年描き続けてきました。

実は、この原稿を執筆している 7 月には、博物館講座の講師として伊藤氏をお招きします。コラージュ（フランス語で「糊付け」の意味）などの技法を用いながら、参加者全員で一本の大きな木を創り上げます。制作を通して、身近な「木」という存在を捉え直すきっかけになれば嬉しいです。

プロが切り取る 美幌の自然

写真・文／町田善康



昨年の夏、動物写真家の前川貴行さんに来町いただき、美幌町内の野生動物の撮影に挑戦していただきました。私は案内役として同行しつつ、趣味の一眼レフカメラを片手に撮影の邪魔にならないよう、プロの技術を間近で見学しました。

卓越した技術はもちろんですが、特に驚かされたのは、同じ被写体を狙っていても、出来上がる写真がプロと私ではまったく違うことでした。例えば、ここに掲載した美幌峠で撮影したハクセキレイの写真。私の写真は鳥に意識が集中しすぎてしまい、背景の屈斜路湖に浮かぶ中島が切れてしまいました。一方、前川さんの作品は、雄大な屈斜路湖をバックにハクセキレイが絶妙な位置に収まっています。見慣れた地元の風景のはずなのに、野生動物の息吹がしっかりと伝わってくる、非常に印象的な一枚でした。

後日、美幌町教育委員会の公式YouTubeチャンネルに公開した動画【まもなく開幕!】第35回美幌博物館特別展「生き物たちの地球」(<https://www.youtube.com/watch?v=cnuU7bPQBnE>)のインタビューでは、「美幌町での撮影は難しかった」と吐露されています。しかし、完成した数々の作品には、そうした苦労を微塵も感じさせない圧倒的な世界が広がっていました。

この感動を少しでも皆さんにも感じていただきたく、博物館の第3展示室と特別展「生き物たちの地球」では、前川さんが美幌で撮影された素晴らしい写真の数々を展示しています。ぜひ会場へ足を運び、その息をのむような魅力に触れてみてください。

Exhibition 展示

特別展「生き物たちの地球」

～ 11/23 (月)

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル

～ 8/30 (日) 9:30 ～ 17:00

美幌博物館受付・無料

開催期間中の休館日／毎週月曜日（7/20 は除く）、7/21、8/12

博物館講座（自然編）「生き物たちの地球」ギャラリートーク

8/1 (土)、2 (日) 10:00 ～ 11:00、14:00 ～ 15:00

美幌博物館 2 階 特別展示室・無料

講 師／前川貴行氏（動物写真家）

対 象／どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴）

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各回 15 名で締切。

プチ工房「折り染めうちわ」

8/7 (金)、8 (土) 10:00 ～ 12:00、14:00 ～ 16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館 1 階 講座室・400 円

講 師／早田真莉子（美幌博物館）

対 象／どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴）

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日 50 名で締切。

サケワシ MAP を使ってみよう

8/29 (土) 10:00 ～ 12:00

美幌博物館 2 階 視聴覚室、網走川・200 円（保険代として）

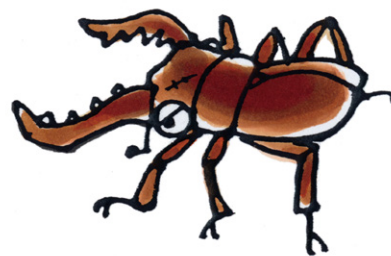
講 師／工藤知美氏（NPO 法人 EnVision 環境保全事務所）

対 象／中学生以上（小学生は保護者同伴）

申込み／美幌博物館に電話で申込み。25 名で締切。

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

指が痛い、膝が痛い、腰が痛い。満身創痍の 7 月です。たくさんの体験学習を終え、ようやく夏休み。ひとまず峠を越え、ほっと一息と思ったのもつかの間、今度は休み明けの学習に向けた準備が始まります。慌ただしい日々ですが、子供たちの笑顔が見たくて頑張っちゃいます。(町田善康)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】早田真莉子

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

